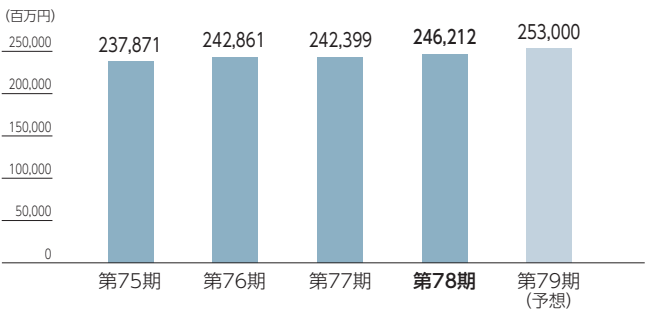


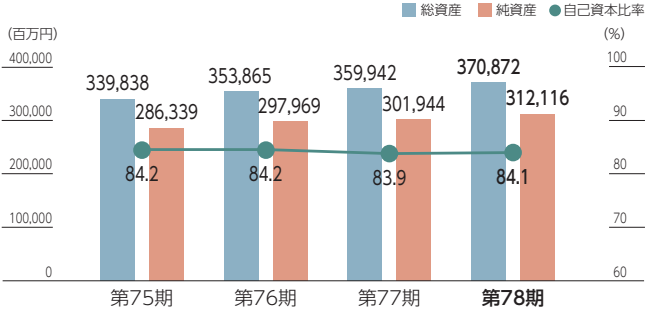
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

営業収益

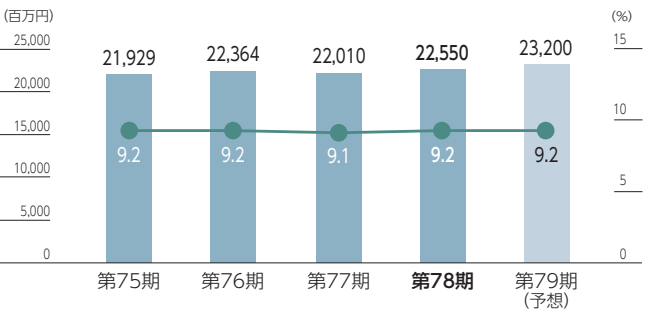


総資産・純資産・自己資本比率

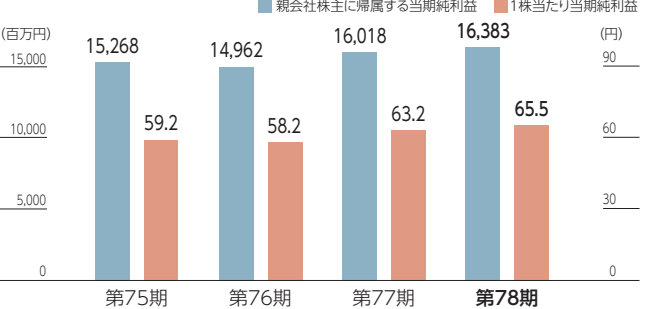


※記載金額は百万円未満を切り捨て、また小数点以下第2位を四捨五入で表示しています。

営業利益・営業利益率



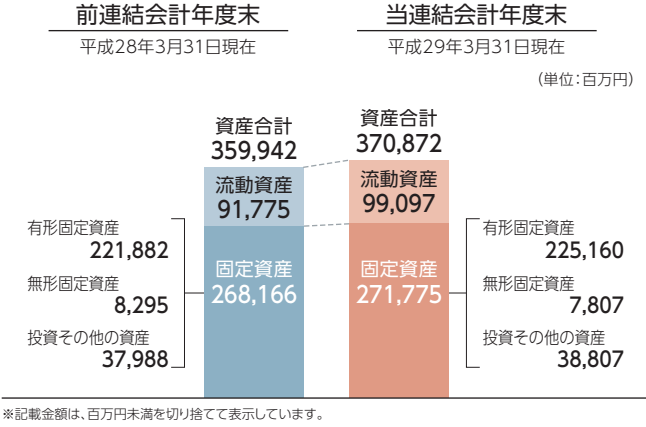
親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益



連結財務諸表

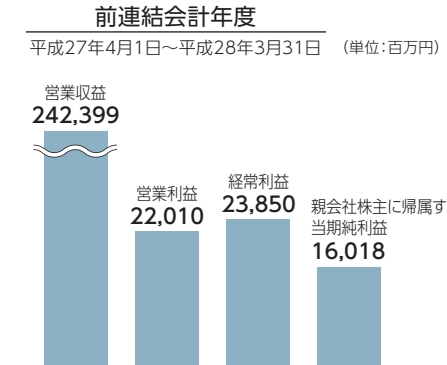
Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表のポイント



※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書のポイント



※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

株式の状況／会社の概要

Stock Information／Corporate Profile

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

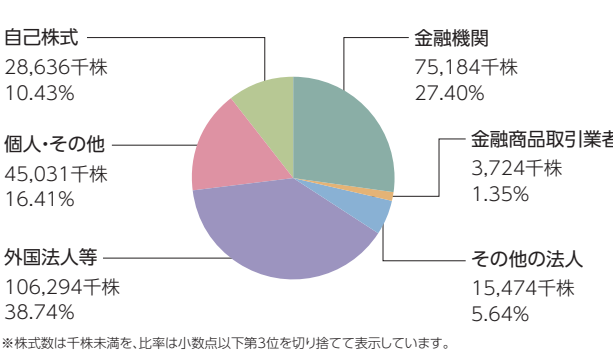
発行可能株式総数	499,550,000株
発行済株式の総数	274,345,675株
株主数	6,531名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
かみぐみ共栄会	13,334	5.42
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	12,026	4.89
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	10,071	4.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	9,971	4.05
全国共済農業協同組合連合会	7,344	2.98
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	6,737	2.74
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	6,556	2.66
上組社員持株会	6,107	2.48
(一財)村尾育英会	4,912	1.99
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	4,784	1.94

※1 自己株式28,636千株は、上記大株主から除いています。
 ※2 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 ※3 持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

所有者別株式分布状況 (平成29年3月31日現在)



※株式数は千株未満を、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

会社の概況 (平成29年3月31日現在)

商号	株式会社 上組 (Kamigumi Co.,Ltd.)
創業	慶応3年(設立：昭和22年2月28日)
資本金	31,642,266,011円
従業員	3,707名(連結：4,111名)
本店	神戸市中央区浜辺通四丁目1番11号
国内物流事業	港湾運送事業、倉庫業、貨物自動車運送事業、倉庫工場荷役請負業等
主要な事業内容	国際物流事業 国際運送取扱業
その他	重量貨物運搬据付業、不動産賃貸業、物品販売業、酒類製造販売業等



役員 (平成29年4月1日現在)

取締役	監査役
代表取締役会長 久保 昌三	常任監査役(常勤) 小前 正英
代表取締役社長 深井 義博	監査役(常勤) 板倉 哲夫
代表取締役専務 牧田 秀男	監査役(社外) 宗吉 勝正
代表取締役専務 佐伯 邦治	監査役(社外) 中尾 巧
取締役 田原 典人	監査役(社外) 林 洋和
取締役 堀内 敏弘	
取締役 市原 陽一郎	
取締役 村上 克己	
取締役 小林 保男	
取締役(社外) 宮崎 達彦	
取締役(社外) 玉造 敏夫	

KAMIGUMI REPORT

第78期 報告書

平成28年4月 1 日▶
平成29年3月31日



株主の皆様へ

創業150年を迎え、
今後も「上組デザイン物流」を推進し、
継続的な成長に取り組めます。

特集

上組創業150年のあゆみ

世界の物流をデザインする。



株式会社上組

創業150年を迎え、
今後も「上組デザイン物流」を推進し、
継続的な成長に取り組みます。

株主の皆様には、格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。
さて、当社第78期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の事業
の状況をご報告申し上げます。



(右)代表取締役会長 久保 昌三
(左)代表取締役社長 深井 義博

景気は回復基調ながら、不安定な経営環境が継続

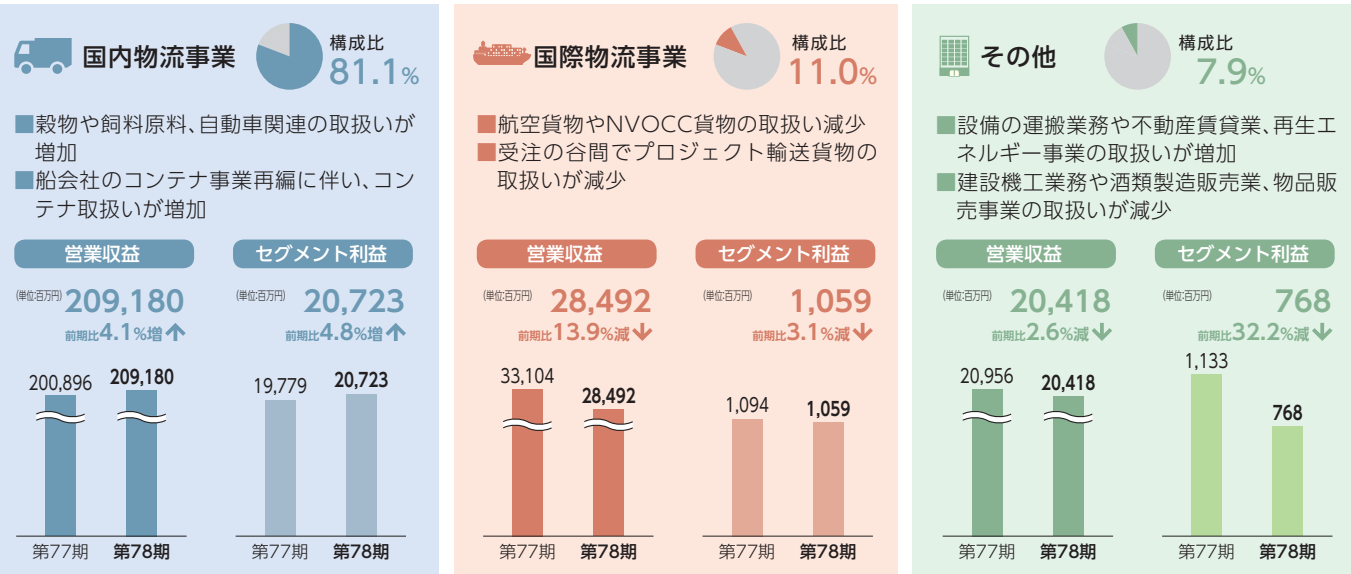
当連結会計年度における世界経済は、一部に弱さがみられるものの、全般的には緩やかに回復してきております。一方で、米国における経済政策の実現可能性や中国をはじめとするアジア新興国の成長の鈍化などを受け、先行きは不透明な状況となっております。わが国においては、一部に回復の遅れもみられますが、景気は緩やかな回復基調が続いております。
物流業界におきましては、不安定な為替の影響もあり、輸出入貨物とも低水準な取扱いが継続し、経営環境は厳しい状態に終始しました。

これからも総合物流企業として競争力強化を推進

このような状況下で当社グループは、穀物の取扱い強化のため、新たに青森県八戸に事業所を開設したほか、鹿児島県志布志においても定温倉庫を新設しました。また、顧客のニ

ズに合わせた流通加工用倉庫を神戸港ポートアイランドおよび岐阜県各務原に新設し、物流基盤のさらなる強化を図り、「上組デザイン物流」を推し進めてまいりました。
この結果、当連結会計年度における営業収益は前連結会計年度比で1.6%増収の2,462億12百万円、営業利益は2.5%増益の225億50百万円、経常利益は0.8%増益の240億35百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、2.3%増益の163億83百万円となりました。

神戸港の開港とともに創業した当社グループは、本年創業150年を迎えることができました。これからも、総合物流企業としてさらなる競争力強化に向け、国内においては需要動向を見据えた的確な設備投資と、海外では引き続き拠点網の拡充や現地物流需要の取込みを推し進めることにより、継続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。



特集

上組創業150年のあゆみ

上組の創業は1867(慶応3)年に遡ります。同年の神戸港開港とともに、神戸税関の前身となる外国人交易の「荷物運上所」が設置され、同所出入りの貨物運搬を命じられたのが上組の前身である「神戸浜仲」でした。

創業期

1867年

創業

1867(慶応3)年
「神戸浜仲」(上組の前身)として創業、運上所(現税関)出入り貨物の運搬を開始。

1873(明治6)年

「上組」に改称し神戸・外国人居留地に寄場を建設。

1906(明治39)年

事業拡大に伴い法人化、「上組合資会社」を設立。
港湾運送、通運、倉庫、重量物輸送と事業を拡大、東京・横浜・名古屋・大阪・門司に支店開設。
製鉄所構内荷役を開始(1939年 広畑支店開設)。



●運上人足賃銭定(運送料金)制定(1868年)



●上組私設消防団が使用した櫓(まとい)



●パナナの荷役作業風景(1937年頃)

再興期

1950(昭和25)年～

第二次世界大戦終戦後、倉庫業を再開、翌1951年、港湾運送事業を再開。

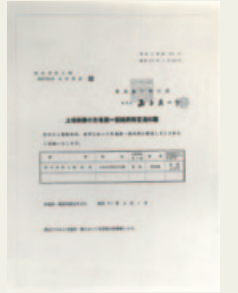
1965(昭和40)年～

株式会社へ組織変更、事業拡大へ。
取扱貨物に応じた拠点の整備。
(鉄鋼部門…東海・福山・八幡・大分、飼料…福岡・鹿児島他)

1971(昭和46)年

東京、大阪証券取引所市場第二部へ株式上場。翌1972年、両市場第一部に指定替え。

東南アジア向けプラント、欧州向けコンテナの増加に伴う海外駐在員事務所開設。
ジャカルタ(インドネシア)、デュッセルドルフ(ドイツ)など。



●上場株券の市場第一部銘柄指定通知書(東京証券取引所)

拡大期

1973(昭和48)年～

第1回転換社債発行(25億円)、設備投資資金調達(以降、1987年第2回(100億円)他数次にわたる資金調達を実施、国内設備投資に充当)。

神戸・ポートアイランドに上組ポートアイランド・コンテナセンター(KPCC)建設。

1981(昭和56)年～

地方港へ設備投資(主に飼料用サイロ。鹿児島、福岡、鹿児島、志布志他)。

1982(昭和57)年～

上組シンガポール設立、以降、海外拠点の拡充を進める(上組マレーシア、上組香港、台湾上組、ESCO*など)。

*Eastern Sea Laem Chabang Terminal Co.,Ltd.



●ESCOコンテナターミナル(タイ・レムチャバン港)

躍進期

1992(平成4)年

新本社ビル(現本店ビル)竣工。東京支社ビル(現東京本社ビル)竣工。

1995(平成7)年

阪神・淡路大震災により神戸が甚大な被害を受ける。



●本店ビル

1996(平成8)年～

SCM*、3PL業務の取扱いを開始。提案型営業の加速。
*Supply Chain Management

2003(平成15)年

業界初、港運事業者単独運営による上組神戸コンテナターミナル(PC-18)を開設。

2004(平成16)年

当社単独運営による上組東京コンテナターミナル(中央防波堤内)を開設。
*2002年～2012年 国内物流施設網の充実・強化。
東京・神戸多目的物流センターや神戸空港島ロジスティックセンター、豊橋新車整備センターなど毎期100億円規模の設備投資を行う。



●上組神戸コンテナターミナル(PC-18)



●上組ポートアイランド総合物流センター



News 1 八戸定温物流センターを開設

平成29年3月25日、かねてより青森県八戸市豊洲地区に建設を進めておりました、定温・燻蒸機能を備えた八戸定温物流センターが竣工しました。
本物流センターの竣工に伴い、八戸出張所を開設し、主に東北地区における食品貨物の取扱い拡大と今後の需要の増加が見込まれる米穀の取扱いを中心に営業展開を図ります。
平成21年に開設しました仙台出張所とともに、今後の東北地方の主要拠点として機能させ、さらなる事業拡大を目指してまいります。

- 【施設概要】
- 名称：八戸定温物流センター
 - 建物構造：鉄骨造、4階建
 - 定温倉庫：10,907㎡
 - 所在地：青森県八戸市豊洲3番24
 - 延床面積：16,999㎡
 - 定温燻蒸倉庫：1,722㎡



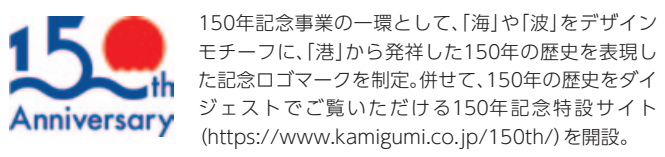
News 2 食品輸出サービスを充実強化

青果物輸送で豊富な実績とノウハウを持つ当社では、平成27年、大阪支店に「食品輸出室」を設置。近年日本産農産物の需要が高まっているアジア諸国に向け、国内外の物流網をフル活用し、スピーディーかつ高品質な輸出サービスをご提供します。
輸送品目の特性や量に応じて、荷主様のご要望に合った最適な温度管理と輸送手段を選択し、日本国内の集荷から海外現地での輸入・通関手続きや荷捌、納入先への配送まで、一貫輸送体制を整えてリードタイムの短縮を実現しています。
今後は青果物以外の米・花き・魚介類やその他の食品の輸出にも対応し、アジア諸国を中心に新鮮・高品質な日本産品を求めるお客様と、輸出に意欲的な生産者・企業・輸出商社様のために、当社の高品質な物流サービスを提供してまいります。

▶青果市場から大阪港・関西国際空港等を経由して、香港をはじめアジア諸国へフレッシュな“おいしい”をお届けします。(当社食品輸出サービス・カタログ(ホームページ掲載)より)



2017(平成29)年 創業150年



150年記念事業の一環として、「海」や「波」をデザインモチーフに、「港」から発祥した150年の歴史を表現した記念ロゴマークを制定。併せて、150年の歴史をダイジェストでご覧いただける150年記念特設サイト(<https://www.kamigumi.co.jp/150th/>)を開設。